



☆大切なお知らせ

前任職の一周忌を、左記の日程で行うことになりました。例年6月に厳修しております永代経法会を少し遅らせ、併修させていただきます。どうぞ皆様今からご予定をお願いしてください。

記

- ◎期日 7月26日(日)
- ◎時間 永代経 日中 午前十時から
速夜 午後二時から
引き続き一周忌法要

「仏さまのものさし」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じます。

今年も変な事件が続いています。名古屋の斧事件、川崎の事件、今度は淡路島で5人惨殺。どうなっちゃってるんだらうかと思

います。どの事件にも必ず関係しているのがインターネットです。名古屋の女子大生もTwitterで過去の酒鬼薔薇聖斗や秋葉原通り魔事件の犯人に

彼岸会にお参りください。
3月21日(土) 昼2時より

共感することをつぶやいていますし、川崎の事件ではLINEが連絡手段となっています。淡路島の犯人もFacebookで近隣の方の悪評を書いたり、Twitterでさまざまな批判を繰り返して書いていました。そのこともあつという間に世間に広まります。現代社会でなくてはならない道具となったインターネットですが、顔の見えないコミュニケーションの難しさがますます問題になってきている気がします。面と向かって悪口を言ったりすることはできなくても、パソコンやスマホに向かつては書いてしまいます。そのうち簡単に口にすることもできるようになってしまふのかもしれない。先日もあるの運転手さんやお医者さんが、お客さんや患者さんに「死ぬ」と言ったことがニュースになっていました。私自身も学校で生徒たちが簡単に「死ぬ」と口にするのを何度も耳にしました。あのイスラム国でさえ、忌み嫌っているはずの欧米の技術であるインターネットを使つて動画を公開したりする始末です。

しかし、突き詰めるとこれはすべて、自分

のものさしこそが正しく、それ以外は認めないという気持ちの現れではないかという気がします。それは個人単位でも国単位でも同じではないでしょうか。自分のものさしこそが正義で、それに合わないものは悪である。だから排除しても構わない。あらゆる個人や団体や国がこの考え方をしていたら、地球の未来はありません。本願寺前ご門主も「怖いのは、自分を省みる心を失うこと」とおっしゃっています。自分が「あの人は変人だ」と思うとき、その人からみたら私が変わ人なのです。人も国もそれぞれ自分専用のものさしを持っていて、それで他人や他国を測つては「それは違う」と言っているのです。

仏さまのものさしはそうではありません。仏さまから見たら私たちは全て『罪悪深重の凡夫』であるからです。国の違い、人種の違い、貧富の差、学歴の差、身分の差……それらの差は皆私たち自身が他と比較するためにつけたものに過ぎません。他と比較することでは自分の優位性を見つけ満足しているのが私たちなのです。阿弥陀如来の救いがないとはならない存在であるのです。だか

21日 (土)	日	10時〜	14時〜	19時〜
			逮夜 正信偈行譜	法話二席

「**彼岸会にお参りください**」

南無阿弥陀仏
 ひがんえ
 らこそ阿弥陀如来は真如の世界、あらゆる区別の無い清らかな浄土を建立され、すべての生きとし生けるものを救うと立ち上がられました。そして光といのち極みない覚りとなつて私たちを照らし続けていてくださっています。『十方微塵世界の念仏の衆生をみそなわし 撰取してすてざれば 阿弥陀と名づけたてまつる』と親鸞聖人が讃えてくださつたように、常に阿弥陀仏から「まかせよ必ず救う」と願われていた共々であつたと喜ぶ生活をさせていただくことで、考え方や生き方がさまざまに違つても、共に願われて生きる身であることに気づかせていただけるのではないかと思うのです。現在の仏教はお釈迦さまのご在世の時代とぜんぜん違ふという人もいますが、時代は変わり幾多の変遷があつても、今の私に生きる力を与えてくださるということでは何も変わらないと思います。煩惱具足の身であつても間違ひなく進む道を教えてくださっているのです。

鯖江市別司町 称名寺若院
 本願寺派布教使
 佐々木 和則 師です。

ご法話
 ささきかずのり
 ご案内の寺報がたいへん遅くなつてしまい申し訳ありません。春の彼岸会も七年目となりました。みなさんぜひお参りください。ご講師には、三年前にも来ていただいた、私と伝道院の同期の若手布教使の佐々木先生をお願いしました。佐々木先生はなんと、男の子三人、女の子一人の四人のお子さんのお父さんで、毎日仕事と法務と子育てに奮闘中です。この少子化の中、たいへん有り難いことで、少子高齢化の原因を作っている私は彼に頭が上がりません。どんなお話を聴聞させていただくことができるか、私もたいへん楽しみにしています。

「**花まつりにお参りください**」

4月8日はお釈迦さまのお誕生日です。仏教徒は「花まつり」として、大切にお祝いしています。この機会に、私たち人間の生きる方向を示して下さつたお釈迦さまのご恩に感謝させていただきましょ。

1時………式典・記念講演

講師 大野市友兼 専福寺住職

真宗高田派専修寺福井別院輪番

本山布教使 金森 顕宏 師

会場 日和山 金鳳寺 さま

となつております。子供大会には紙芝居やビンゴゲームもあります。おそばも無料です。こんなチャンスは滅多にありません！皆様の参りをお待ちしています。

子供さんも大募集です！

なお、花まつりの奉賛懇志を募っております。一口千円となっております。どうぞご協力をお願いいたします。ご連絡いただければすぐに伺います。全国にもなかなかない、宗派を超えた仏教会主催の花まつりを、これからも永く続けていきたいと思っております。

では、彼岸会でお会いしましょう！

※来寺のお約束や、お参りの変更など、重要なことは必ず携帯にお電話下さい。出られなければ留守電に入れてください。こちらからご連絡いたします。

住職 内嶋淳浩(うちじま あつひろ)

090-8967-7902

メールアドレス

soichiro4989@gmail.com

日時 4月4日(土)
 8時半………白象町内パレード
 10時半………子供大会
 12時………おそば会食